

2017 年 8 月 1 日

## (株)東京環境測定センターニュース

(No. 199)

平成 29 年 7 月 11 日に環境省から「アスベストモニタリングマニュアルの改訂について」が発表されました。(環境省ホームページより抜粋・一部編集)

<http://www.env.go.jp/press/104278.html>

今回の改訂においては、解体現場等からアスベストの漏えいの有無を確認する迅速な測定方法として、従来、参考資料としてマニュアルで紹介していた位相差/偏光顕微鏡法等の測定方法の位置付けを見直し、マニュアルの改訂を行いました。

### 主な改訂事項

- (1)「発生源近傍及び集じん・排気装置排出口等における漏えい監視・管理のための測定方法」に、アスベスト迅速測定法として、位相差/偏光顕微鏡法及び位相差/蛍光顕微鏡法を位置付けた。
- (2)「発生源近傍及び集じん・排気装置排出口等における漏えい監視・管理のための測定方法」に、自動測定器によるリアルタイム測定として、粉じん相対濃度計、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器による測定を位置付けた。

弊社でも試料の採取および分析は「アスベストモニタリングマニュアル（第 4.1 版）」（平成 29 年 7 月 環境省 水・大気環境局 大気環境課）に対応しております。

---

御質問、問合せは、技術グループ 課長 坂井 TEL03(3895)1924 までお願いします。